

[大規模科学計算システム]

三次元可視化システムの紹介

情報部情報基盤課 共同研究支援係 共同利用支援係
サイバーサイエンスセンター スーパーコンピューティング研究部

はじめに

三次元可視化システムは、3D 対応 50 インチ LED モニタを 12 面配置した大画面ディスプレイと、演算結果の可視化処理およびディスプレイへの描画を行う可視化サーバから構成されます。スーパーコンピュータ SX-9 および並列コンピュータ LX 406Re-2 で得られたデータの可視化にご利用いただけます。またテレビ会議システムを用いて、遠隔地と可視化結果を共有したテレビ会議も可能です。

可視化装置

■ ディスプレイ

2D/3D 表示に対応した、フル HD (1,920×1,080 画素) 50 インチ LED モニタを 12 面設置し、最大 7,680×3,240 画素の高精細表示が可能です。

■ 可視化サーバ

1 ノードにインテル Xeon プロセッサ E5-2670 を 2 基、メモリを 128GB、グラフィックボード Quadro K5000 を搭載し、全 4 ノードで構成されます。

■ 三次元可視化ソフトウェア

AVS/Express MPE を採用し、複数画面での 3D 立体視表示が可能です。

テレビ会議システム

Polycom HDX8000-1080 を採用し、フルハイビジョン (1080p) での映像接続が可能です。また、入出力インターフェースを利用してユーザの PC 画面、ビデオ映像を送信することができます。最大 3 地点からの接続が可能です。

利用方法

■ 設置場所

サイバーサイエンスセンター1F 可視化機器室

■ 利用対象者

センターの利用者番号をお持ちの方

■ 利用予約方法

電話・メールによる事前連絡

TEL: 022-795-6251 e-mail: sys-sec@isc.tohoku.ac.jp

■ 利用負担金

利用予約時間 1 時間につき 2,500 円

■ 利用マニュアル

可視化機器室にて閲覧可能

